

80	弘法筆を選ばず	オ
79	弘法にも筆の誤り	セ
78	郷に入っては郷に従え	エ
77	孝行のしたい時分に親は無し	シ
76	後悔先に立たず	ウ
75	光陰矢のごとし	ツ
74	喧嘩両成敗	ア
73	犬猿の仲	イ
72	芸は身を助ける	ケ
71	君子危うきに近寄らず	サ
70	苦しい時の神頼み	コ
69	口は災いの元	タ
68	腐っても鯛	ク
67	木を見て森を見ず	ソ
66	清水の舞台から飛び降りる	ト
65	九死に一生を得る	チ
64	雉も鳴かずに撃たれまい	ス
63	聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥	キ
62	聞いて極楽見て地獄	カ
61	かわいい子には旅をさせよ	テ

解答

ト	うまくいくかはわからないことでも、思い切って決断を下すことのたとえ。
テ	甘やかして育てるよりも、世の中でつらくて苦しい体験をさせたほうが、愛する子どものためになるといふこと。
ツ	月日がたつのがとても速いことのたとえ。また、時間を無駄にしてはいけないという戒め。
チ	まず助からないだろうという危険な状態から何とか助かること。
タ	自ら話したことが災いを招くこともあるので、余計な発言は慎んだ方がよい。
ツ	物事の些細な事ばかり注意していると全体を見失うということ。
セ	どんなに優れた人物でも、失敗することはあるというたとえ。
ス	鳴いたがために撃たれた雉のように、必要のないことをした結果、災難を招いてしまうこと。
シ	親のありがたみが解る頃には、すでに亡くなっているものだ。だから、親が元気なうちに孝行したほうがよい。
サ	親のありがたみが解る頃には、すでに亡くなっているものも立派な人は、常に慎重に行動して、軽はずみなことはしないものなので、危険なことには初めから近寄らない。
コ	信じていない神様や、あまり付き合ひのない人などに、困った時だけ頼ろうとすること。
ケ	身につけた技能はいざと言うときに役立つことがある。
ク	価値あるものは多少条件が悪くなってもそれなりの価値はある。
キ	知らないことを聞くことは、その時に恥をかくだけだが、知らないままだと一生恥ずかしい思いをすることになる。
カ	価値あるものは多少条件が悪くなってもそれなりの価値はある。
オ	人から話に聞いたものを実際に見てみると、聞いていたことと大きく違っていること。
エ	優れた名人・達人は、道具のよしあしに関係なく立派な仕事をやるものだということ。
ウ	すでにしてしまった失敗を後で後悔しても取り返しがつかない。だから後悔しないように注意しなさい。
ス	うまく世渡りするためには、その土地ごとの習慣に合わせて生活するのがよいということ。
イ	犬と猿のように、二者の仲がとても悪いことのとたとえ。
ア	喧嘩をしたものは、どちらが悪いかに関係なく、どちらも同じように罰を与えるべきだということ。

記号